

Title	浅野均一名誉教授履歴
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学体育研究所
Publication year	1972
Jtitle	体育研究所紀要 (Bulletin of the institute of physical education, Keio university). Vol.11, No.1 (1972. 2) ,p.1- 4
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	浅野均一教授定年退職記念特集号
Genre	Departmental Bulletin Paper
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00135710-00110001-0001">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00135710-00110001-0001</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 浅野均一名誉教授履歴

- 大正15年3月 慶応義塾大学医学部卒業
- 大正15年4月 慶応義塾大学医学部助手（内科学教室勤務）
- 〃 慶応義塾大学競走部監督
- 昭和3年9月 日仏対抗陸上競技大会役員として渡満
- 昭和4年4月 スポーツ医事研究会を設立
- 昭和5年8月 慶応義塾大学競走部監督として渡満
- 昭和8年12月 中島飛行機株式会社東京製作所診療所長
- 昭和9年4月 産業衛生協会、産業医学会各常務理事（BCG並びに騒音に関する研究等）
- 〃 労働科学研究所客員研究員（体操のエネルギー代謝に関する研究）
- 〃 東京工場医会会長
- 昭和9年11月 医学博士・主論文「運動選手に於ける股動脈音の研究」  
昭和9年9月15日慶応医学第14巻9号掲載
- 昭和10年9月 日本陸上競技連盟理事
- 昭和11年1月 中島飛行機株式会社東京病院院長
- 昭和11年4月 日本体育協会常務理事
- 昭和11年6月 ヘルリン・オリンピック大会日本本部役員として渡欧  
国際スポーツ医学会総会にて「運動選手に於ける股動脈音の研究」を発表
- 昭和15年3月 中島飛行機株式会社武蔵野病院院長
- 〃 内閣の命により労働専門委員（勅任）
- 〃 〃 産業報国会厚生部長（勅任）
- 〃 健民修練に三橋喜久雄氏と共に全国を歩く
- 昭和18年2月 日本医師会理事
- 昭和18年11月 中島飛行機株式会社武蔵野製作所総務部長
- 昭和20年4月 第1軍需工廠総務部長（勅任）
- 昭和21年1月 医療法人財団荻窪病院院長

浅野均一名誉教授履歴

昭和22年 3 月	日本体育協会理事
//	日本オリンピック委員会委員
//	日本陸上競技連盟理事長
昭和22年10月	慶応義塾大学評議員
昭和22年11月	文部省体育振興委員会委員
昭和23年 1 月	日本体育協会常務理事
昭和23年 3 月	文部省大学設置審議会委員
昭和23年 8 月	東京都地方児童福祉委員会委員
昭和23年 9 月	慶応義塾大学教授 慶応義塾大学に体育科目設置のため依頼される
昭和24年 4 月	慶応義塾大学法学部教授 体育科目設置
昭和24年10月	第 4 回国民体育大会を組織
昭和24年12月	東京都体育会副会長
昭和25年 1 月	東京都陸上競技協会会長
昭和25年 4 月	慶応義塾体育会競走部部长
//	武蔵野市体育会会長
昭和25年 7 月	国際オリンピック実行委員会（ロザンヌ）及び国際陸上競技連盟総会（ブ ラッセル）に日本代表として出席
昭和26年 3 月	アジア競技連盟実行委員会委員兼日本代表評議員 第 1 回アジア大会（ニューデリー）日本選手団団長
昭和26年 4 月	日本体力学会常務理事
//	日本体力医学会幹事
昭和27年 6 月	ヘルシンキ・オリンピック大会に本部役員として欧州各地を歴訪 国際スポーツ医学会総会に「日本のスポーツ医学の歴史と現況」と題して 特別講演
昭和27年10月	大学体育協議会常務理事
昭和28年 1 月	NHK中央放送番組審議会委員
昭和29年 4 月	第 2 回アジア大会（マニラ）出席のため渡比
昭和29年 8 月	ベルン国際陸上競技連盟総会出席
昭和31年 8 月	文部省保健体育審議会委員
昭和31年11月	大学体育協議会理事長
昭和31年11月	国際オリンピック大会本部役員としてメルボルンへ出張

浅野均一名誉教授履歴

昭和33年 3月 国立競技場理事  
昭和33年 8月 国際陸上競技連盟総会出席のためストックホルムへ出張  
昭和34年 2月 日本陸上競技連盟副会長  
昭和34年10月 第3回アジア大会（東京）出席  
// アジア国際体育会議を組織し理事として活躍  
昭和35年 8月 国際オリンピック大会本部役員としてローマ及び欧州各国を歴訪し国際陸上競技連盟総会において理事に選出  
昭和36年 4月 慶応義塾大学体育研究所長  
// 国際陸上競技連盟理事会（ロンドン）に出席  
昭和36年 6月 I C S P E（国際体育科学会議）の理事に選出  
// 国際陸上競技連盟からMIMS（国際スポーツ医学会）にドーピング等の問題について理事として推薦  
昭和36年12月 東南アジア半島ゲームズに国際陸上競技連盟公式監察員としてラングーンへ派遣  
昭和37年 4月 財団法人慶応ガンセンター理事  
昭和37年 6月 第4回アジア大会出席のためジャカルタへ出張  
// 明治生命厚生事業団理事  
昭和37年 8月 国際陸上競技連盟総会並びに理事会出席のためベオグラードへ出張  
昭和38年 4月 国際陸上競技連盟総会のためブラジルに出張  
昭和39年 4月 競輪，競馬法，法律改正委員（内閣）  
昭和39年 6月 ソ連へ国賓として招聘さる  
昭和39年10月 東京・オリンピックに国際陸上競技連盟理事として出席  
昭和40年10月 国際陸上競技連盟総会出席のため米国へ出張  
昭和41年 4月 国際陸上競技連盟理事会出席のためフランクフルトへ出張  
昭和41年 8月 国際陸上競技連盟総会出席のためハンガリーへ出張  
昭和41年11月 スポーツ振興の功績により藍綬褒章を受章  
昭和42年 3月 第5回アジア大会出席のためバンコックへ出張  
昭和42年10月 ユニバシアード東京大会に国際陸上競技連盟理事として出席  
// 国際体育会議，組織委員として体力医学部門担当  
昭和43年 4月 国際陸上競技連盟理事会出席のためベニスへ出張  
昭和43年10月 メキシコ・オリンピックに国際陸上競技連盟理事として出席  
国際スポーツ医学総会にて「順化状態における適応作用」を発表

浅野均一名誉教授履歴

昭和44年12月	東南アジア半島ゲームズに国際陸上競技連盟代表として出席
昭和45年 3 月	定年退職
昭和45年 4 月	名誉教授